

～活動の報告と計画～

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

令和三年度の県への要望事項は、先号に記載した通りです。

例年の委員会活動は年度の前半を中心に行われるため、現在、特に活動は行っておりませんが、時宜を得た要望活動に備え、絶えず情報収集を行っています。

コロナ禍という特殊事情が二年続いていますが、改善すべき中心課題は、やはり配置基準や職員処遇の改善であると考えます。

これらは恒常的な問題であり、コロナのように一時的・臨時的に対処できるものではないため、大幅に改善の余地があることは関係者であれば誰でも認識しているものの、なかなか前に進んできませんでした。

これらについては、財源等の問題が事態改善を阻んでいるのかもしれませんが、必要性は変わらないので、粘り強く要望を続けていきます。

また、予想を上回る少子化の進展もあり、定員割れの問題も顕在化してきました。こうした比較的新しいトピックも敏感にキャッチし、改善に向けて行政に働きかけていく所存です。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

令和二年度、令和三年度の計画は、コロナ

感染症拡大の影響で計画はしていたものの実施できませんでした。ようやく、ビジネスでの移動に関して帰国後の待機期間が短くなり始めています。あともう少しでしょうか。計画していたハンガリー視察を実施できるよう考えていますが、他国への訪問も提案があれば検討していきたいと思いますので、お知らせください。

さて、私は、海外交流委員として、様々な国を視察する機会を頂きました。特色のある教育・保育、政策について、また、国の歴史などを学ぶことができました。しかしながら標準保育時間が十一時間の国にはまだ出会っていません。でも、保育者の子どもに接するときの丁寧さは日本だなーと思っていますが、皆さん大丈夫ですよ？

緊急事態宣言が解除されても保育の場においての緊張感は続いています。でも制約のある中で、見直すことができたものも多くあります。また子どもたちはどんなときにも楽しいことを見つける天才です。そのエネルギーの恩恵を受けて過ごしていきたいですね。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（一事業五万円）を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を

実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業（十五万円）の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。

啓発品について、ご協力いただいてありがとうございます。マスクをしなくてもよい場面が増えてくることを期待して、今回新たに「マスクケース」を作成しました。マスクの衛生的な保管に活用ください。クリアファイル、ピンバッチのご用意もあります。お申込みでない方も、施設長研修会などでご協力いただけますのでよろしく願います。

申し込みなどシステム化しましたが、キャリアアップ研修の本来の目的である保育の質向上につながる内容になるよう検討を重ねています。

引き続き会員園の皆様にはご理解とご協力よろしく願います。

研修委員会

委員長 野中こども園 中村章啓

本年度下半期に予定されていた研修もほぼ終了いたしました。リモート開催としたものもありましたが、講師の先生方のご尽力および皆様のご理解とご協力で、従前と遜色のな

い内容とすることができました。ありがとうございます。詳しい内容については、各研修報告のページをご覧ください。

昨年度以来、『保育の現場・職業の魅力向上に関する報告書』『保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン』の発行、『保育所における自己評価ガイドライン』の改訂など、保育の質の向上と、それを支える労働環境の整備を促す提案が次々と為されています。また、今年度中には「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」からも何らかの報告・提案が出される見通しです。

研修委員会では、これからの施設長に求められる資質と知見を支える研修を企画していきます。

今年度内の研修会は次の通りです。

○新規採用予定職員研修会

令和二年二月中旬から下旬

(会場は各支部の研修会場にて)

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、先の実況の見通しを立てることも大変でしたが、今年度のキャリアアップ研修も参集型での開催を行ってきました。緊急事態宣言の発令を受け延期になった分野もあり

ましたが、順次開催されました。また、今年度からイーラーニングでの受講も一分野ですが認められ実施されました。感染症への不安から申し込みはしたもののキャンセルされる受講者も多くいらつしやいましたが、運営スタッフは安全安心の研修会運営に努めてくださり、あらためて感謝申し上げます。

一日でも早く感染症の状況が落ち着き安心して学びの場に参集できる日が来ますように引き続き保育の質の向上に結び付く研修会の実施ができるよう検討していきたいと思っています。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

広報委員会

委員長 城北保育園 松田剛

研修会やイベントが少しずつですが対面形式で開催されるようになってきました。これからの研修は、WEB形式と、対面形式を使い分けて開催されると思われます。どのような形式の研修会でも、皆さんが学んでいる内容をたくさん届けていきたいと思っています。

最近の話題は専らコロナのことになってしまいましたが、子どもたちを取り巻く環境も変化してきています。広報委員会では新しい情報や、県内各地の保育園やこども園の様子をたくさん伝えていきたいと思っています。取材などでお伺いすることがありますが、皆さんのご協力をよろしくお願いします。また、新しい

企画や要望などありましたらお知らせください。

青年部会

部会長 すみれ認定こども園 後藤恭佑

役員改選後、各支部ともに新たな顔ぶれを迎えて今年も青年部会がスタートしました。役員の先生方におかれましては、信頼の厚い方々に恵まれたことに感謝申し上げます。ことに、青年部としても今年も、飛躍の年となることを期待しています。初のリモートでの開催となった今年度の青年部総会とシンポジウムもウェブでの開催となりましたが、多くの会員の皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。

コロナ禍においても、幼児教育、人材確保、待機児童問題等々、問題は山積みですが、コロナ禍で経験したものは貴重な財産のように感じます。それらを生かしつつ、青年部らしく、「とりあえず、動く、やってみよう」の精神で組織としても、個人としても向上できるように、精進して参ります。どうぞ、皆様よろしくお願い致します。

●実績報告

六月四日 青年部総会及びシンポジウム
八月四日 令和三年度男性職員交流研修会